

平成 20 年 12 月 15 日
(株)放送衛星システム

放送衛星 BSAT-3c の調達について

平成 23 年(2011 年)に設計寿命を終える BSAT-2 系衛星の後継衛星として、平成 23 年春に打ち上げ予定の BSAT-3c 衛星について、株式会社放送衛星システム(東京都渋谷区: 代表取締役社長 竹中 一夫)は、本日 12 月 15 日、米国ロッキードマーチン社との間で売買契約書を締結しました。(衛星名称:BSAT-3c/JCSAT-110R)

なお、本衛星はスカパーJSAT 株式会社(東京都港区: 代表取締役 執行役員社長 秋山 政徳)の CS 衛星放送用中継器も搭載し、同社と共同で調達・所有する衛星です。本衛星の管制・運用は、(株)放送衛星システムが行います。

今回の調達契約の締結により、平成 23 年以降の BS デジタル放送は、現在運用中の BSAT-3a、すでに調達契約締結済みの BSAT-3b と併せ 3 機体制で実施されることとなります。

(株)放送衛星システムは、“準基幹放送”としての BS 放送の新しいインフラとなる、この 3 機体制をより一層安全、安定かつ効率的に運用することにより、視聴者の皆さま、関係者の皆さまの期待と信頼に応えてまいります。

(参考)

● 放送衛星 BSAT-3c/JCSAT-110R の概要

引き取り場所	東経 110 度 静止衛星軌道上
引き取り期日	平成 23 年 5 月 31 日
衛星バス	A2100A (ロッキードマーチン社(米))
設計寿命	15 年以上

BS 放送用中継器

サービスエリア	日本一円(BSAT-2 と同様)
搭載中継器数	16 本
アンテナ	送受信共用 展開型パラボラアンテナ

問い合わせ先:(株)放送衛星システム 企画部
TEL 03-5453-6521